

【様式】

## 政務活動一覽

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
R5/04/25 ~04/26	04/25 16:00 ~18:00	岡山市北区 内山下 2-4-6	CEF(株)		風力発電施設 の資材の運搬 について	4-14
	04/26 09:00 ~10:00	津山市野村 253-1	〃	〃	現地視察	
R5/06/01 ~06/03	06/02 10:00 ~11:00	中央区日本橋 馬喰町 1-13-13	(株)WOTA		雨水を利用し た水循環シス テムの導入可 能性について	6-2
	06/02 12:45 ~15:00	千代田区 永田町 2-2-1 衆議院第一議 員会館	JOGMEC	荒井文明氏	関金温泉の地 熱発電の可能 性について	
	06/02 16:00 ~17:00	港区虎ノ門 1- 23-4 虎ノ門ヒルズ	小田急電鉄(株)		小田急電鉄と 倉吉との連携 について	
R5/07/05 ~07/08	07/05 13:30 ~18:30 07/06 10:00 ~16:00	新宿区戸塚町 1-104	全国地方議会 サミット 2023	講師 ■■■氏、他	全国地方議会 サミット 2023 への参加	7-6
	07/07 10:00 ~11:00	港区新橋 5-23- 7	日本 PFI・PPP 協会	植田和男氏	PFIにおける地 元企業の参加 の在り方につ いて	
	07/07 13:00 ~15:00	大田区西六郷 1-4-27 大田区立志茂 田福祉センタ ー	(株)エンタシス	糸井高雄氏	ピースエント リーについて	
	07/08 13:00 ~16:30	千代田区内幸 町 2-2-1	後藤新平の会 シンポジウム	講師 ■■■氏、 他	『「衛生の道」 からみた関東 大震災』の受講	
R5/07/14 ~07/15	07/14 14:30 ~16:00	岡山市北区津 島中 3-1-1	岡山大学寺澤 研究室	■■■氏	マイクロステ ップについて	7-21

	07/15 09:00 ~11:00	津山市野村 253-1	(株)CEF	■■■■氏	風力発電について	
R5/08/24 ~08/26	08/25 14:00 ~18:30 08/26 09:00 ~15:45	川崎市川崎区 富士見 1-1-4	自治体学会川 崎大会	自治体学会	自治体学会川 崎大会への参 加	8-26
R5/08/31 ~09/01	08/31 14:30 ~15:00	千代田区永田 町 2-1-1	青木一彦国会 事務所	青木一彦参議 院議員	倉吉市の脱炭 素先行地域に ついて	8-30
	08/31 15:00 ~16:00	"	藤井一博国会 事務所	藤井一博参議 院議員	"	
R5/09/28 ~09/29	09/29 10:00 ~10:30	鳥取市東町 1- 220	市場開拓局	山本紀子局長	米粉の販売促 進について	9-23
	09/29 10:30 ~11:00	"	脱炭素社会推 進課	若山慎史参事	ため池太陽光 発電について	
R5/10/07	10/07 13:30 ~16:00	大阪市中央区 備後町 2-5-8	淀屋研究会	■■■■氏	船場まつり 第 12 回講演と 懇談落語の会 への参加	10-7
R5/11/07 ~11/08	11/07 18:30 ~19:30	岡山市北区津 島中 3-1-1	岡山大学寺澤 研究室	寺澤孝文氏	マイクロステ ップについて	11-8
	11/08 09:00 ~10:30	岡山市北区内 山下 2-4-6	岡山県議会	安井 誠 一 氏	予算・決算説明 資料の統一化 について	
R5/11/15 ~11/16	11/15 14:00 ~16:30	佐野市若松町 39	佐野ラーメン 予備校	西沢修氏	佐野ラーメン 予備校につい て	11-16
	11/16 13:30 ~16:30	大阪市東淀川 区西淡路 1-3- 12	日本 PFI・PPP 協会	植田和夫氏、他	日本 PFI・PPP 協会全国 9 都 市巡回セミナー の受講	
R5/11/20 ~11/21	11/20 ① 14:30 ~15:30 ① 18:00 ~18:30	① 米子市鞆町 1-16 ② 米子市新開 2-4-1	① 鳥取県西部 総合事務所 ② ウッズカン パニー	① 中原美由 紀所長、他 ② ■■■■氏	① 出先機関の 人員不足につ いて ② Park-PFI について	11-20

	11/21 ① 11:00 ~12:00 ② 13:30 ~15:40 ③ 16:00 ~17:00	① 米子市上後 藤 4-2 ② 米子市末広 町 294 ③ 米子市馬喰 町 4-50	① 聖園天使園 ② 米子コンベ ンションセ ンター ③ 米子児童相 談所	① [REDACTED]氏 ② とっとり被 害者支援セ ンター ③ 大下幹男所 長	① 西部の児童 養護の現状 について ② 鳥取県被害 者支援フォ ーラムへの 参加 ③ 米子児童相 談所の現状 について	
R5/12/16 ~12/17	12/16 10:00 ~16:00	京都市左京区 岩倉大鷲町 422	東京大学先端 科学技術研究 センター	[REDACTED] 他	LEARNTeachers AcademyGrandO peningEvent へ の参加	12-15
	12/17 09:30 ~16:30	"	"	"	ATAC カンファ レンス 2023 へ の参加	
R6/01/25 ~01/27	01/25 15:00 ~16:30 01/26 10:00 ~16:00	江東区有明 3- 11-1	ネプコンジャ パン事務局	各セミナー講 師	オートモーテ ィブ ワールド MaaS フォーラ ムへの参加	1-18
R6/02/01 ~02/02	02/01 10:00 ~16:00 02/02 10:00 ~15:00	鳥取市東町 1- 220	鳥取県	各部局長	2月議会政務調 査会	2-5

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

## 活動報告 (県外)・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	大規模風力発電施設の地元と共存する事業についての調査
活動年月日	令和5年4月25日(火)～4月26日(水)
場 所	岡山市北区内山下2-4-6 津山市野村253-1(現地)
活動の相手方	CEF(株)M&P部 ████████氏
活動の目的	大規模風力発電施設の設置に関して、事業者が行う手続きや地元への働きかけなどについての調査
活動の内容	津山市で建設中の大規模風力発電施設に関して、設置に至る経緯や今後の事業の流れ、必要な手続きや段取り、地元への同意の取り付けや働きかけなど、事業者が実際に行っている活動について話を聞くとともに、現地の視察を行った。
活動の結果等	CEF(株)は根室に本社を置く自然エネルギー発電の会社であるが、津山の五輪原というところで大規模な風力発電施設の建設を進めている。 建設にあたって資材を鳥取県(泊漁港)から陸送しようとしているということであったので、どういう計画なのかを含めて、大規模浮力発電施設の設置に必要な業者側の手続きについて調査を行った。 今後、鳥取県内でも大規模風力発電の設置が計画されているが、CEF(株)は、他の地域でも地元の同意を得ながら、地元と共存する形で事業を進めており、住民に納得してもらえらる事業の進め方について、いろいろと参考になる話が聞けた。
関連領収書番号	4-14

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	(1) 雨水を利用した水循環システムについて (2) 関金温泉の地熱発電について (3) 倉吉市の脱炭素の推進と小田急電鉄との連携について
活動年月日	令和5年6月1日(木)～6月3日(土)
場所	(1) 中央区日本橋馬喰町 1-13-13 (2) 港区虎ノ門 2-10-1 (3) 港区虎ノ門 1-23-4
活動の相手方	(1) WOTA(株) 営業担当部長 ████████ 氏 (2) エネルギー・金属鉱物資源機構 地熱技術部 荒井文明史 (3) 小田急電鉄(株) デジタル事業創造部 ████████ 氏
活動の目的	(1) 山間地の防災レジリエンスの向上のために、エリアで完結する水循環システムの導入可能性について調査 (2) 関金温泉での地熱発電の可能性についての調査 (3) 倉吉市の脱炭素の推進への小田急の連携の意向調査
活動の内容	(1) WOTA は雨水を利用した水循環システムの開発を行っており、このシステムを山間地域の集落で導入できないか可能性を聞いた。 (2) 以前、機構が発表資料で鳥取県中部エリアでの地熱発電の可能性の高さが示されており、特に関金温泉周辺での可能性について話をうかがった。 (3) 倉吉市と小田急電鉄は包括連携協定を結んでいるが、脱炭素に関しても連携の可能性がないか聞き取りを行った。
活動の結果等	(1) 愛媛県大洲市で WOTA の集落での実証実験が始まっているとのことであり、能登半島地震でも断水した自治体で WOTA のシステムが活躍しており、山間集落の独立した水循環システムの構築の可能性は高いと感じた。現在、倉吉市との連携を模索中である。 (2) 機構が発表した以前の資料は確度があまり高くないとのことだった。特に関金温泉は泉温が低く地熱発電の可能性は高くないのではとのことだった。 (3) 脱炭素によるまちづくりに関して連携の可能性を探ったが、小田急の強みを活かした連携の在り方についてこの時点では思いつくことがなく、引き続き可能性を探るということになった。
関連領収書番号	6-2

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	(1) 全国地方議会サミット 2023 への参加 (2) PFI における地元企業の参加の在り方について (3) ピースエントリーについて (4) 『「衛生の道」からみた関東大震災』の受講
活動年月日	令和5年7月5日(水)～7月8日(土)
場 所	(1) 新宿区戸塚町 1-104 早稲田大学大隈記念講堂 (2) 港区新橋 5-23-7 (3) 大田区西蒲田 8-1-75 (4) 千代田区内幸町 2-2-1 日本プレスセンタービル
活動の相手方	(1) ローカル・マニフェスト推進連盟、他 (2) 日本 PFI・PPP 協会会長 植田和男氏 (3) (株)エンタシス代表取締役 CEO 糸井高雄氏 (4) 後藤新平の会、他
活動の目的	(1) 全国地方議会サミット 2023 への参加 (2) PFI における地元企業の参加の在り方について (3) ピースエントリーについて (4) 『「衛生の道」からみた関東大震災』の受講
活動の内容	(1) 全国地方議会サミット 2023 への参加 (2) PFI における地元企業の参加の在り方について (3) ピースエントリーについて (4) 『「衛生の道」からみた関東大震災』の受講
活動の結果等	(1) 地方議会改革の最近の動向を知り、地方議会の在り方を見直す機会として、ほぼ毎年参加している。今回は特に「自治体監査と議選監査委員を活かす」というテーマの講演が、議選監査委員の役割を考えるのに役に立った。 (2) 大きな予算規模の PFI 事業に地元企業が参加するには、大手企業が組成する SPC の傘下に入ることになるが、参加した SPC が PFI を受注できなければ、地元企業はその後の業務に関わることが難しくなる。県立美術館の PFI でもそうした苦情の声を聴くことがあったが、これに対する対策として、SPC に入るのではなく地元企業でシンジケートを組んで下請け業務を受注するなどの方策が考えられるとの示唆をもらった。 (3) (株)エンタシスの糸井社長とは古くからの知り合いであるが、数年前に、誰でもいつでも簡単にデータ作業ができるシステム「ピースエントリー」を開発し、社長自ら日本全国を営業で駆け回っている。社長によると、データ入力作業は多くの自治体や企業が外注しているが、その実態は中国企業に丸投げといった状況が多く、安全保障上からも問題があるという。「ピースエントリー」は国内でデータ入力ができるシステムとして、ま

	<p>た誰でも作業が可能なことから小規模作業所も導入でき障がい者の工賃アップにもつながるシステムとして、非常に興味があり、今回 大田区の小規模作業所への説明会に同行させてもらった。現在、多くの自治体や作業所での導入が進んでおり、近県では岡山でも事例があるという。鳥取県での導入についても働きかけたい。</p> <p>(4) 関東大震災から 100 周年、震災復興を指揮した後藤新平のシンポジウムに参加した。後藤新平の復興計画は壮大で、当時なかなか理解されなかったことが悔やまれる。昨今、地震や台風、豪雨による災害が頻発している中、災害復興の在り方について考えることができた。</p>
関連領収書番号	7-6

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	(1) マイクロステップについて (2) 風力発電施設の資材運搬について
活動年月日	令和5年7月14日(金)～7月15日(土)
場所	(1) 岡山市北区津島中 3-1-1 (2) 津山市野村 253-1
活動の相手方	(1) 岡山大学大学院寺澤研究室 ■■■■■氏 (2) CEF(株)M&P 部 ■■■■■氏
活動の目的	(1) マイクロステップの今後についての打ち合わせ (2) 風力発電施設の資材の運搬についての相談
活動の内容	(1) 県の地域未来塾推進事業を活用した倉吉市の地域未来塾はばたき教室でマイクロステップ学習の導入について、今後の活動について打ち合わせを行った。 (2) 津山市で建設中の風力発電施設の資材を泊漁港から運搬することについて具体的な相談を受けた。
活動の結果等	(1) マイクロステップ学習は寺澤教授が研究してきた脳の記憶メカニズムに基づいたアルゴリズムを使った学習法である。1日10分程度のドリルを“アルゴリズムに基づいて”繰り返すだけで努力しないで記憶が定着するというもので、学習環境に難のある子どもたちの基礎学力の定着に役立てようと倉吉市のはばたき教室で導入を試みてきた。 ここ数年コロナで十分な運用ができなかったもので、来年度に向けて、どうするのか打ち合わせを行った。 (2) 4月に相談を受けてから、関係がありそうな機関や県の部署に確認してきたが、それらについて、今回現地を見ながら、警察や道路管理者など手続きの相手先を確認し、申請に必要な事項について具体的に話を聞いた。 残念ながら、台風で途中の道路が被害を受け、スケジュールが大幅に遅れることになったが、引き続き鳥取県側での手続きについて相談を受けたい。
関連領収書番号	7-21



## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	自治体学会川崎大会への参加
活動年月日	令和5年8月24日(木)～8月26日(土)
場所	川崎市川崎区富士見1-1-4 カルツソかわさき
活動の相手方	自治体学会
活動の目的	地方自治の最近の動向の調査研究
活動の内容	自治体学会川崎大会への参加
活動の結果等	自治体学会の会員として年1回の大会に参加を続けている。 地方自治について、最近あまり語られることが無くなったように感じているが、人口減少下の今後の自治体の在り方について検討、議論することが今こそ必要だと考えており、交流会での意見交換を含めて、大会参加は非常に良い機会になっている。
関連領収書番号	8-26

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	倉吉市の脱炭素先行地域に係る調査と協力の依頼
活動年月日	令和5年8月31日(木)～9月1日(金)
場所	(1) 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 (2) 〃
活動の相手方	(1) 青木一彦参議院議員 (2) 藤井一博参議院議員
活動の目的	(1) 倉吉市の脱炭素先行地域に係る調査と協力の依頼 (2) 〃
活動の内容	(1) 脱炭素先行地域の申請に関して、関係各省の動向の調査と協力を依頼した。 (2) 〃
活動の結果等	(1) 鳥取県内では、米子市・境港市、鳥取市が脱炭素先行地域に選定され、地域の再エネ発電を主とした脱炭素の取り組みを推進させている。 いっぽう、県中部の脱炭素についての動きが芳しくなく、県議会議員として倉吉市に推進を働きかけてきた。 その流れで県から倉吉市に職員派遣を行い、脱炭素先行地域に申請を行う運びとなった。 この件に関して、何とか先行地域に選定されるよう、市のアドバイザーである松田氏を同行して、関係省庁の動向調査と協力を国会議員に依頼した。 残念ながら第4回の申請には漏れたものの、現在第5回の申請に向けて、申請書を作成中である。 これが通ることで、県の東中西すべての地区が先行地域に選ばれることになり、県全体での脱炭素の取り組みがより一層進むことになる。 (2) 〃
関連領収書番号	8-30

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	船場まつり「第12回講演と懇談落語の会」への参加
活動年月日	令和5年10月7日(土)～10月8日(日)
場所	大阪市中央区備後町2-5-8 麵業会館
活動の相手方	淀屋研究会 ■■■■■氏
活動の目的	大阪の淀屋研究会と倉吉市の淀屋牧田家再生プロジェクトとの交流を推進し、関西万博を見据えて大阪から誘客の仕組みを作る。
活動の内容	船場まつり「第12回講演と懇談落語の会」に参加し、大阪の淀屋研究会のメンバーと意見交換を行った。
活動の結果等	<p>倉吉市にある倉吉淀屋(牧田家)は安土桃山時代～江戸時代初期の大阪の豪商淀屋(岡本家)との関係が深いと言われている。平成15年当時、ほぼ廃屋だった淀屋の建物は倉吉で最も古い商家建築でありながら解体の危機にあった。その淀屋の建物の保存活用に向けて、地域住民で組織したのが淀屋牧田家再生プロジェクト(淀プロ)であった。淀プロは大阪の淀屋研究会との交流をしながら、保存活用に向けての活動を行ってきた。その甲斐あって平成18年に倉吉市が購入・改修し、現在に至る。</p> <p>淀プロは倉吉淀屋サミット、わいわい淀屋など淀屋を拠点に地域を盛り上げるイベントを続けてきたが、コロナでここ数年活動を休止していた。さらにコロナの間に中心メンバーが亡くなったり、体調不良で活動が困難になるなど、会の存続が厳しくなっている。</p> <p>来年、淀プロ結成から20年を迎えるにあたって、改めて会を組織し直し、大阪との交流を再開するために、淀屋研究家主催の会に参加し、挨拶をさせてもらった。</p> <p>今後、関西万博を見据えて、さらに交流を深め、大阪からの誘客を図っていくつもりである。</p>
関連領収書番号	10-7

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	(1) マイクロステップについて (2) 予算・決算説明資料のデータ・フォームの改善について
活動年月日	令和5年11月7日(火)～11月8日(水)
場所	(1) 岡山市北区津島中 3-1-1 (2) 岡山市北区内山下 2-4-6
活動の相手方	(1) 岡山大学大学院教育学研究科教授 寺澤孝文氏 (2) 岡山県議会事務局議事課長 安井誠一氏
活動の目的	(1) マイクロステップの次年度の取り組みについて打ち合わせ (2) 予算・決算説明資料のデータ・フォームの統一化の研究
活動の内容	(1) 県の地域未来塾推進事業を活用した倉吉市の地域未来塾はばたき教室でマイクロステップ学習の導入について、来年度の活動の方向性を確認した。 (2) 予算・決算説明資料のデータとフォームを統一化の参考にするために、岡山県議会の資料の現状について説明を聞いた。
活動の結果等	(1) コロナで思うような活動ができなかったが来年度は岡山理科大学の協力を得て、大学生との交流や学習の習慣づけのためのリモートアシスタントの試行などを進めていくことを確認した。 (2) デジタル化・ペーパーレス化の推進や事務効率の改善、資料の見易さの向上を図るために、予算・決算説明資料のデータとフォームを統一化について研究している。他県の議会でも同様な課題はデジタル化の推進に伴って課題になってくると思われるが、これまで議会間でそういった課題を共有することもなく、他所の議会の資料を見ることもなかった。今回、岡山県議会の資料の提供を受け、話をした。ただ、現状では岡山県議会ではそこまでの課題認識が無さそうであった。
関連領収書番号	11-8

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	(1) ラーメンによるまちづくりの研究 (2) 日本 PFI・PPP 協会主催のセミナーの受講
活動年月日	令和5年11月15日(水)～11月17日(金)
場 所	(1) 佐野市高砂町1 佐野市役所 佐野市若松町39 佐野ラーメン予備校 (2) 大阪市東淀川区西淡路1-3-12 TKP 新大阪駅前カンファレンスセンター
活動の相手方	(1) 佐野市総合政策部 総合戦略推進室 西沢修氏 (2) 日本 PFI・PPP 協会 植田和夫氏、他
活動の目的	(1) ご当地ラーメンを使ったまちづくりについての研究 (2) 最新の PFI、PPP の動向の研究
活動の内容	(1) 佐野ラーメン予備校について説明を受け、予備校を卒業して開業した店舗に行って店主の話を聞いた。 (2) 日本 PFI・PPP 協会全国9都市巡回セミナーの受講 ・地域課題を解決する戦略的な PPP/PFI の普及・推進 ・ローカル PFI・Park - PFI ・包括施設管理・共通データ仕様
活動の結果等	(1) 地域の活性化と併せて食糧安全保障や食糧の自給率向上の観点などから、鳥取県の牛骨ラーメンによるまちづくりと原材料の地産地消を推進する活動が始まっている。その参考にすべく、ご当地ラーメンを使った移住定住を推進している佐野ラーメン予備校について話を聞いた。 移住者にとって移住先での就職は大きな課題だが、移住とご当地ラーメンの店の開業を支援をセットにして移住者を募集するというというのは良い発想であり、実際に予備校を卒業した移住が10組近くあり、なかなかの成果だと思う。 ただ、出店者同士の競争が過剰にならないよう、出店を抑えなくてはならないという課題も見られたが、牛骨ラーメンによるまちづくりの手法の1つとして大変参考になった。 (2) 日本 PFI・PPP 協会の会員として年に数回セミナーを受講している。今回も、小さな自治体でも取り組めるローカル PFI や包括施設管理など最新の PFI・PPP の動向を知ることができた。
関連領収書番号	11-16

## 活動報告 (県外・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	LEARN Teachers Academy Grand Opening Event と ATAC カンファレンス 2023 への参加
活動年月日	令和 5 年 12 月 16 日 (土) ~12 月 17 日 (日)
場 所	(1) 京都市左京区岩倉大鷲町 422 国立京都国際会館 (2) "
活動の相手方	(1) 東京大学先端科学技術研究センター ■■■■■ 氏、他 (2) "
活動の目的	(1) LEARN Teachers Academy の受講の登録 (2) インクルーシブ教育に AI 等の最新の技術を活かすための情報収集
活動の内容	(1) LEARN Teachers Academy Grand Opening Event に参加した。 ・LTA は何を指すか？「今の日本の教育課題とその解決の方向性」 ・LTA は何を学べるか？「LTA が考える未来の教師リテラシーと新オンラインカリキュラムのご紹介」 ・これからの教育を考える座談会 (2) ATAC カンファレンス 2023 に参加した。 ・セッション 1 AI など最新のテクノロジーはどうなっているのか？ ・セッション 2 障害のある子どもをどう通常学級で受け入れるのか？ ・セッション 3 インクルーシブ教育をどう実現するか？ ・セッション 4 デジタルアクセシビリティアドバイザーになりませんか。
活動の結果等	(1) 東京大学先端科学技術研究センターの ■■■■■ 氏はギフテッドと呼ばれる一般には変わったこと受け止められがちな特異な能力を持った子供たちの学びの場を提供してきたが、その活動をさらに発展させ、全ての子どもたちの可能性を引き出すための先生のためのもう 1 つの学びの場として LTA (LEARN Teachers Academy) を発足させた。以前から ■■■■■ 氏の活動に関心をもって、今回は LTA に登録した。これにより鳥取県のインクルーシブ教育の推進に起用したいと考えている。 (2) AI 等の最新の技術は障がいのある子どもたちのアクセシビリティの向上に効果的であり、インクルーシブ教育において不可欠なツールだということを認識した。
関連領収書番号	12-15

## 活動報告 (県外)・国外)

議員名： 川部 洋

活動事項	オートモーティブ ワールド MaaS フォーラムへの参加
活動年月日	令和6年1月25日(木)～1月27日(土)
場所	江東区有明3-11-1 東京ビッグサイト
活動の相手方	ネプコンジャパン事務局・各セミナー講師
活動の目的	最新の MaaS やライドシェアなどの情報を仕入れる。
活動の内容	<p>オートモーティブ ワールド MaaS フォーラムへの参加、セミナーを受講した。</p> <p>セミナー 世界の MaaS 事例「ブリュッセルの奇跡」とは</p> <p>セミナー ライドシェアの最新事例 ～移動課題の克服に向けて～</p> <p>セミナー 中国 BEV 最新トレンド ～進化する技術と CX デザイン～</p> <p>セミナー 北九州市の中小企業が進む未来への道 ～デジタル化・自動化・脱炭素化の取り組み～</p>
活動の結果等	<p>人口減少や働き方改革の影響によるドライバー不足が深刻になり、地域の公共交通の維持が課題になる中、最新の MaaS やライドシェアの事例を知ることができた。</p> <p>しかしながら、事例となっている MaaS やライドシェアのビジネスモデルは人口密集地での採算を前提にしており、地方都市や中山間地域の移動手段の確保については、このモデルをそのまま当てはめるのは難しい。</p> <p>かといって、地域での共助に頼ることは、人口がさらに減っていく中で持続可能なモデルとはなりえず、改めて自治体の充分な関与の必要性を認識した。</p> <p>最新の技術や知見を十分に活用しつつ、地方都市モデルを構築する必要がある。</p>
関連領収書番号	1-18